

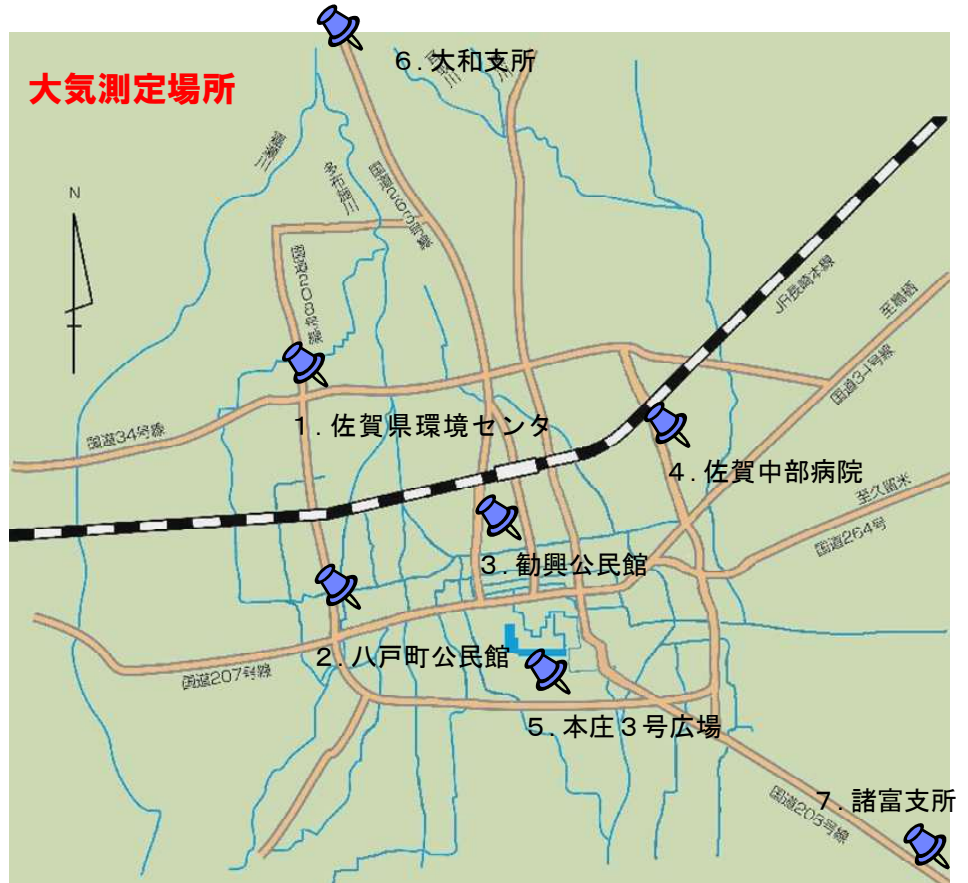
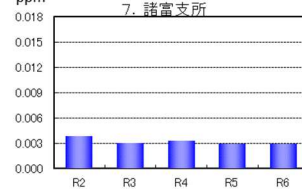
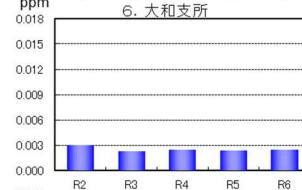
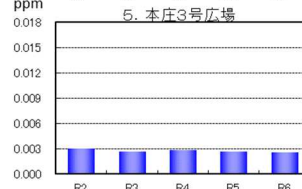
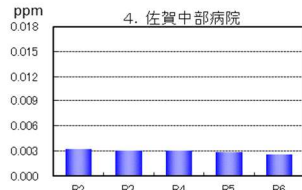
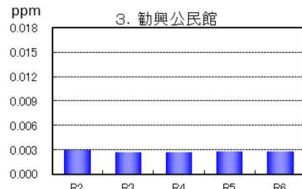
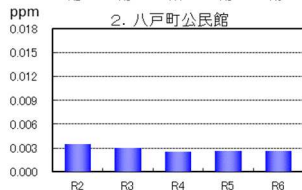
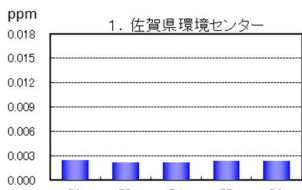
大気

大気汚染は、工場等で物を燃やしたり、自動車が走行したりする際に発生する、窒素酸化物や硫酸酸化物等により引き起こされています。

佐賀市では、窒素酸化物中の二酸化窒素を市内の7地点で、ガスバック法により測定しています。測定値はいずれも環境基準値以内であり、特に問題は見られません。

二酸化窒素の環境基準

0.04~0.06ppm のゾーン内または、それ以下の値。



窒素酸化物

窒素酸化物は物が高い温度で燃える時に発生する気体です。大気中には主として一酸化窒素と二酸化窒素の形で存在します。二酸化窒素は濃度が高くなると、ぜん息や気管支炎などの病気を引き起こしたり、光化学スモッグや酸性雨の原因になったりします。

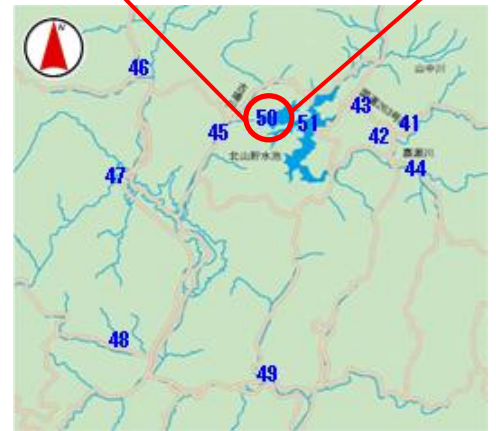
ガスバック法

大気中の二酸化窒素などの簡易測定方法。二酸化窒素などの分子拡散を利用し、長期間にわたり捕集するもので、風速、温度、湿度などにより捕集率に影響を受けない構造になっております。測定結果は、捕集後発色させて吸光光度法により定量したものを平均濃度で表します。

水質

公共用水域（河川、湖沼及び海域）の水質

環境を客観的な数値で把握するため、公共用水域（河川、湖沼及び海域）の水質調査を行っています。公共下水道の供用地区では、水質が浄化されています。



市内中心部

No.	地点名	BOD
1	北部バイパス交差点	1.7
2	大財橋	0.9
3	玄海橋	2.2
4	護国神社前	2.1
5	愛右エ門橋	1.5
6	土井団地入口	1.2
7	旭橋	2.7
9	循誘小学校前	2.1
10	大井手橋	2.5
11	新高橋	2.4
12	すみれ橋	2.4
13	高柳スクリーン	1.8
14	正里橋	1.8
15	巨勢橋	1.9
17	西頭橋	1.7
18	本庄袋地区	2.2
20	廿橋	1.7
21	逆井手樋門	2.1
22	鍋島地区	2.0
23	中央橋	2.6
24	北川副小学校前	1.9
25	地藏橋	1.9
26	どん3の森北	1.3
28	塚原橋	2.3
29	念仏橋	2.1
30	神野上水取水口	1.4
31	修理田橋	2.0
32	佐賀江大橋	2.5
33	新郷橋	1.7
34	中島橋	2.9
35	堂地橋	2.7
36	本庄江橋	4.9

大和町

No.	地点名	BOD
37	上戸田天満宮	1.2
38	福島橋	1.1
39	南小路下水路	1.7
40	尼寺下水路終点	2.4

三瀬地区

No.	地点名	BOD
41	大佐古橋付近	0.6
42	岸高上流	0.7
43	岸高下流	1.0
44	薙野下流	0.6

富士町

No.	地点名	BOD
45	新小関橋	0.7
46	道園上流	0.7
47	大串橋	0.6
49	本村頭首工	0.7

北山ダム

No.	地点名	COD
50	北山ダムダムサイト	3.2
51	北山ダム中央	2.9

諸富町

No.	地点名	BOD
52	小杭橋	5.8
53	聖人橋	5.8
54	庄屋給橋	5.1
55	五郎右衛門樋門	7.5
56	千人塚	7.3

東与賀町

No.	地点名	BOD
57	立野	4.3
58	搦	3.9
59	下古賀北	3.7
60	住吉西	3.9
61	大授二	1.9
62	中飯盛	1.7
63	飯盛	3.4

川副町

No.	地点名	BOD
64	東南里	2.2
65	西古賀	2.7
66	広江東	4.2
67	南15区西	3.9
68	南2区	4.7
69	南18区	5.8
70	南12区	4.2
71	東古賀	2.5
72	下早	7.2
73	大詫間9区	8.5

久保田町

No.	地点名	BOD
74	徳間取水口	1.4
75	北田	1.8
76	下新ヶ江汚水処理場上流	2.9
77	搦西	6.5
78	久富汚水処理場上流	4.7
79	福所	4.2
80	江戸汚水処理場上流	2.3
81	中副	1.5
82	横江	1.8
83	関左エ門制水ゲート東	2.1

有明海

No.	地点名	COD
84	B-3	1.3
85	B-4	1.3
86	B-5	1.2

BOD：生物化学的酸素要求量（Biochemical Oxygen Demand）の略。水中の有機汚濁物質を分解するために微生物が必要とする酸素量のこと、河川の汚れを測る代表的な指標です。この数値が大きいほど水中の汚れが進んでいることを示しています。

BOD	1 mg/L 以下	2 mg/L 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	8 mg/L 以下	10 mg/L 以下	10 mg/L より大きい
目安	ろ過などで水道水に使える水	ヤマメ、イワナが生息できる水質	サケ、アユが生息できる水質	コイ、フナが生息できる水質	農業に使える水	不快を感じない程度の水質	臭いを感じる水質

COD：化学的酸素要求量（Chemical Oxygen Demand）の略。水中の有機汚濁物質を酸化剤で分解する際に消費される酸素量のこと、海域及び湖沼の汚れを測る代表的な指標です。この数値が大きいほど水中の汚れが進んでいることを示しています。

COD	1 mg/L 以下	2 mg/L 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	8 mg/L 以下	8 mg/L より大きい
目安	ろ過などで水道水に使える水、ヒメマスが生息できる水質	マダイ、ブリが生息できる水質	サケ、アユが生息できる水質	コイ、フナが生息できる水質	不快を感じない程度の水質	臭いを感じる水質

地下水の水質

佐賀市では、地下水の状況を把握するため、水質調査を行っています。
令和6年度は29本の井戸で実施しました。



水質調査の結果、3本の井戸で環境基準を超える砒素が検出されました。また、1本の井戸で一般細菌が水道法に基づく水質基準値を超過して検出されました。

基準を超過した井戸については、引き続き水質調査を行い経過を観察します。

騒音・振動

市内では、道路に面した区域で道路交通に伴う騒音、振動及び交通量の調査を市内6地点で行っています。また、住宅地内等での一般環境騒音の調査を市内12地点で行っています。令和6年度は、3地点で調査しました。（毎年3地点を測定し、6年間で一巡します）。今回の測定結果は、騒音で環境基準に、振動で要請限度に適合していました。



騒音・振動の調査結果

No.	地点名	年度	騒音 (dB)	振動 (dB)	交通量 (台)	No.	地点名	年度	騒音 (dB)	振動 (dB)	交通量 (台)
1	佐賀県立図書館	R6	60	40	100	4	マルキョウ大財店	R3	66	39	134
2	じんの内医院	R7	未測定	未測定	未測定	5	佐賀北高等学校	R3	62	41	126
3	北陵高校	R8	未測定	未測定	未測定	6	鍋島公民館	R4	67	43	194

※令和6年度から一部測定地点及びローテーション等を見直しています。



【凡例】
 : 令和6年度測定地点

① 開成四丁目公民館

	R6	R2
騒音	46dB	50dB

② 西中野公園

	R6	R2
騒音	44dB	46dB

一般環境騒音の調査結果

No.	地点名	年度	結果 (dB)	基準 (dB)	No.	地点名	年度	騒音 (dB)	基準 (dB)
①	開成四丁目公民館	R6	46	55	⑦	昭栄公園	R3	49	55
②	西中野公園	R6	44	55	⑧	循誘児童遊園	R4	43	55
③	海童神社 (川副)	R7	未測定	[55]	⑨	高木宿文化館	R3	43	55
④	なかよし公園 (東与賀)	R7	未測定	[55]	⑩	小川公民館 (大和)	R4	49	55
⑤	徳万地区公園 (久保田)	R8	未測定	[55]	⑪	遊水公園	R5	41	55
⑥	大和中央公園 (大和)	R8	未測定	[55]	⑫	諸富町徳富 (諸富)	R5	45	55

※③～⑥は「市街化調整区域」なので環境基準は当てはまらないため、みなし基準となる。
 ※令和6年度から一部測定地点及びローテーション等を見直しています。

騒音・振動の大きさの目安

騒音	デシベル (dB)	～50デシベル	～60デシベル	～70デシベル	～80デシベル	～90デシベル	
	騒音	静か ←				うるさい →	
	音の例	静かな住宅地の屋	平均的な事務所内	普通の会話騒々しい街頭	電話のベル音	カラオケ(店内)交通量の多いトンネル	

振動	デシベル (dB)	～50デシベル	～60デシベル	～70デシベル	～80デシベル	～90デシベル	
	振動	静か ←				揺れる →	
	振動の例	人は揺れを感じない	少数の人がわずかな揺れを感じる	多くの人が揺れを感じる	ほとんどの人が揺れを感じる	吊り下げ物が大きく揺れる	

自然環境

佐賀市の豊かな自然

佐賀市の中南部は平野に農地が広がり、農業用水と生活用水を得るための水路が網の目のように張り巡らされています。これらの水辺は水生生物や野鳥など、多くの生き物が集まる場になっています。このような環境は泥上げや草の刈り取り等、人が管理をすることで保たれています。

北部は背振・天山山系に囲まれた山林地帯となっており、ダム湖や森林、溪流などの環境が見られます。南部の有明海に面した広大な干潟では、ムツゴロウやシチメンソウ、クロツラヘラサギなどの珍しい生き物を観察することができます。

水辺の生き物

本市には水田や水路、池沼など多様な水辺環境あり、それぞれの環境に適応した生き物たちを育てています。全国的に絶滅が心配されている貴重な生き物も、数多く生息しています。



アリアケスジシマドジョウ
(環境省) 絶滅危惧 I B 類
(佐賀県) 絶滅危惧 I 類種



ヒシモドキ
(環境省) 絶滅危惧 I B 類
(佐賀県) 準絶滅危惧種



ベニイトンボ
(環境省) 準絶滅危惧種
(佐賀県) 準絶滅危惧種

森の生き物

北部の森林地帯には溪流や湿原、起伏に富んだ山々など多様な環境があり、平野部とはまたちがった生き物が生息しています。



エビネ
(環境省) 準絶滅危惧
(佐賀県) 準絶滅危惧種



カジカガエル
(佐賀県) 準絶滅危惧種



ミヤマアカネ
(佐賀県) 絶滅危惧 I 類種

自然環境

有明海の生き物

渡り鳥の一大渡来地でもある有明海の干潟には、ここでしか見られない生き物が多数生息しており、全国的にも貴重な環境が保たれています。漁業も盛んで、特にのりの養殖が盛んです。



白石原湿原 (久保泉町大字下和泉)

白石原湿原は、生き物が住みやすい環境づくりを目的として平成13～14年度に整備をし、地元住民などの協力により湿原やその周辺環境の維持管理を行ってきました。

ここでは四季を通じてトンボや野鳥などたくさんの生き物を観察することができ、いこいの場として多くの方に親しまれています。

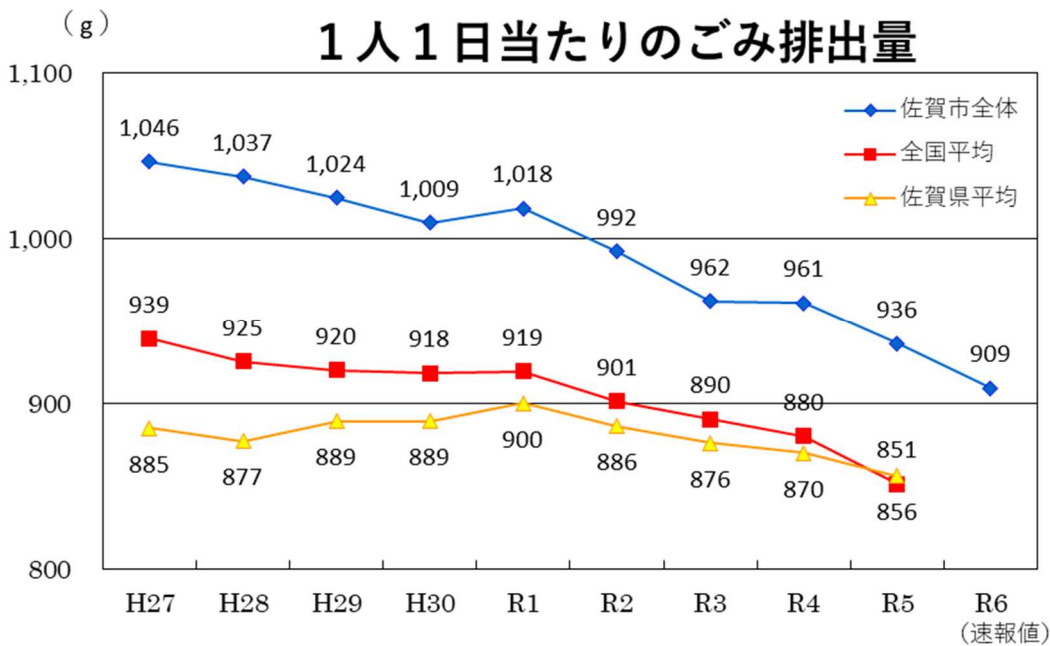
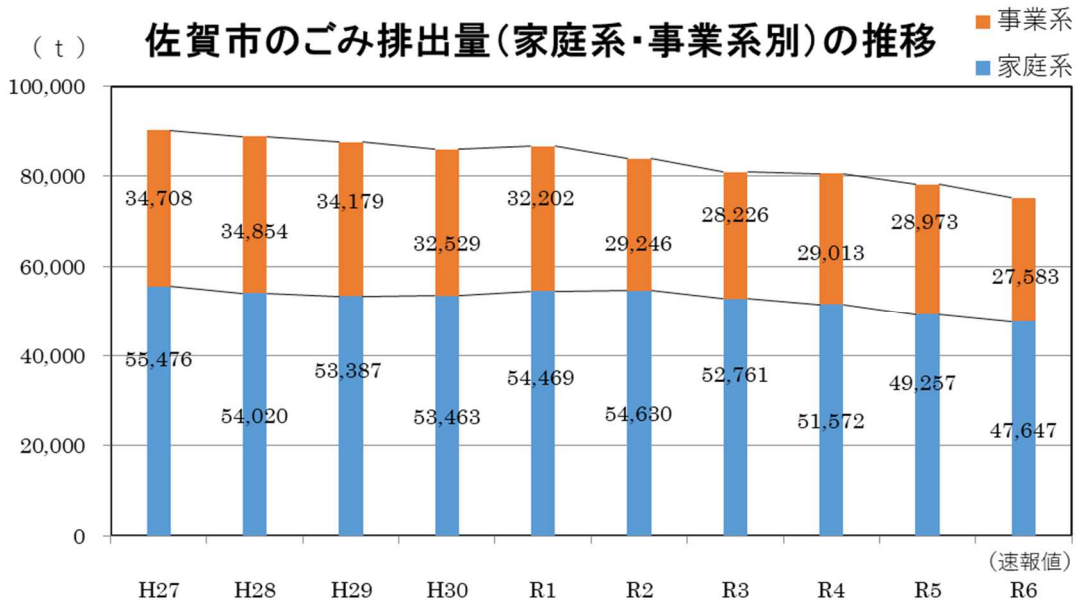


ごみ

佐賀市では、家庭のごみと事業者のごみ減量の各行動目標を定め、ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組んでいます。



ごみの排出状況

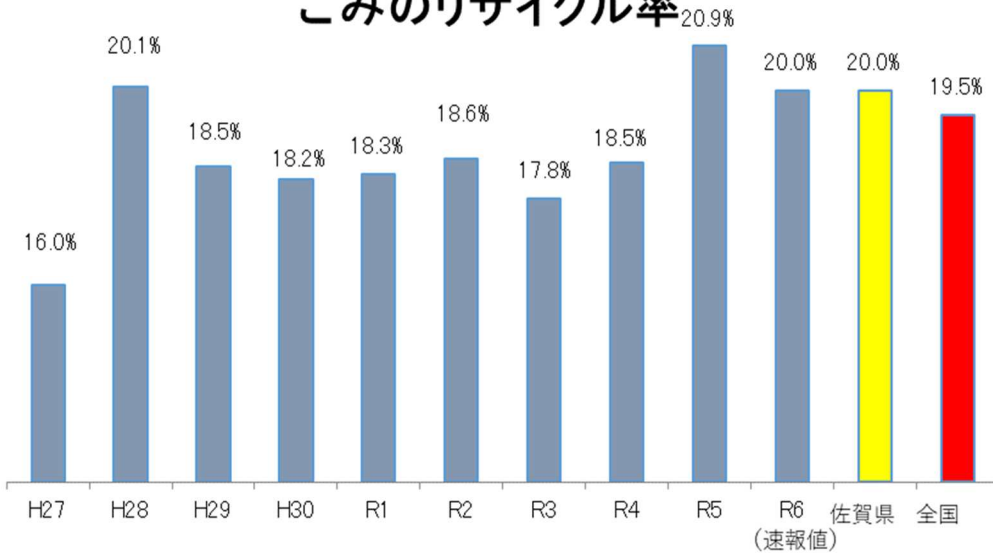


佐賀市のごみ排出量は減少傾向にあります。それでも、1人1日当たりのごみ排出量は全国や佐賀県の平均を上回っているため、もっとごみを減らしていきたいですね。

ごみ

リサイクルの状況

ごみのリサイクル率



※1 マテリアルリサイクル
資源物を原材料として新たな製品をつくること。



※2 サーマルリサイクル
ごみを焼却した時の熱を利用して発電や温水利用すること。

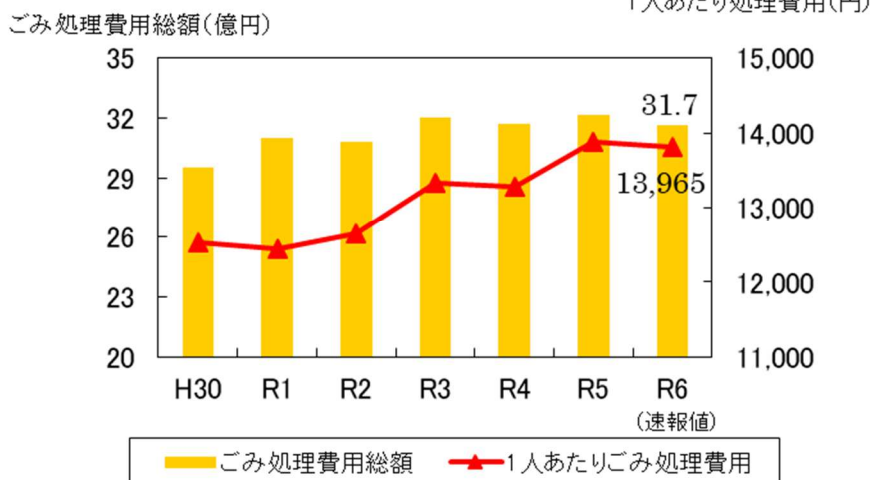


この他にも、佐賀市清掃工場ではサーマルリサイクル※2を行っています。
令和6年度はサーマルリサイクルで12,391トンのCO₂を削減しました。



ごみ処理費用

●ごみ処理にかかるお金



佐賀市ではごみ処理に年間約32億円ものお金が使われています。
1人あたり年間1万4千円ぐらいのお金を使っていることになります。

